



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川賢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-72-6616

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	540	75.7	38		45		46	
2019年3月期第1四半期	307		97		105		106	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	15.56	
2019年3月期第1四半期	35.38	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	3,068	715	23.3	238.51
2019年3月期	3,242	761	23.5	254.08

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 715百万円 2019年3月期 761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,326	44.5	58		72		73		24.61
通期	2,996	15.9	104	11.7	75	25.1	63	11.5	21.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,998,800 株	2019年3月期	2,998,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	株	2019年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	2,998,800 株	2019年3月期1Q	2,998,800 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の主要顧客である製薬会社は、新薬開発に経営資源を集中させより革新的で有効性の高い医薬品開発を目指しております。また注力領域も従来の低分子・高分子医薬品と併せ再生医療等製品、免疫療法、遺伝子治療、ワクチン等と広がりを見せております。一方、世界の医薬品開発市場は、各国の健康戦略や経済戦略も伴い着実に成長を続けており、アジア圏においても創薬市場は地道に拡大しつつあるものと見ております。

このような中、第1四半期会計期間は、受託試験事業においては、委託者都合によって報告書提出が翌四半期会計期間以降へ繰越となる試験が複数あり、売上は目標未達となりましたが、SEND（非臨床試験データ標準フォーマット：Standard for Exchange of Nonclinical Data）による差別化等の営業戦略の成果によって受注が堅調に推移した他、海外からの受注も増加し、第1四半期累計期間中は高い受注残高を維持することができたため、稼働率は高く前年同期比で利益率は改善いたしました。

また、3か年の経営改革による各種施策が定着し試験現場での作業効率の見直しなど生産性向上に取り組みながら、試験遂行と信頼性確保に不可欠な人材確保のために処遇改善を実施しつつ働き方改革を進めております。

環境事業におきましては、大学・民間企業の動物関連施設の多くが更新時期を迎えることで市況は活発であり、理化学機器販売会社等と連携した営業活動を継続しております。

当第1四半期累計期間の経営成績は、受託試験事業においては委託者都合によって報告書提出が翌四半期会計期間に延期された試験が発生したものの高い稼働率を継続できたことから、環境事業においては完成引き渡しとなった案件が少なかったものの、売上高は540,511千円（前年同四半期比75.7%増）、営業損失は38,989千円（前年同四半期は営業損失97,553千円）、経常損失は45,863千円（前年同四半期は経常損失105,309千円）、四半期純損失は46,679千円（前年同四半期は四半期純損失106,125千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(受託試験)

当事業部門におきましては、他CROに先行するSEND対応サービスで差別化を図るとともに、製薬会社以外の分野や海外市場への取り組みを強化し、また新たな試験系取得のために特色ある海外CROとの代理店契約締結等を進めてまいりました結果、委託者都合によって報告書提出が翌四半期会計期間以降に延期された試験が発生したものの、売上高は464,096千円（前年同四半期比56.2%増）、営業損失は48,626千円（前年同四半期は営業損失90,277千円）となりました。

(環境)

当事業分野におきましては、大学・民間企業の動物関連施設の多くが更新時期を迎えることで市況は活況が続いております。当第1四半期累計期間においては、前事業年度より継続の工事が引渡しとなり、売上高は76,414千円（前年同四半期比621.3%増）、営業利益は9,636千円（前年同四半期は営業損失は7,275千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は1,691,176千円となり、前事業年度末に比べ163,411千円減少しました。主な内訳は、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少413,776千円並びに現金及び預金の増加126,549千円、受注残高の増加による原材料及び貯蔵品の増加85,210千円であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は1,377,596千円となり、前事業年度末に比べ9,999千円減少しました。主な要因は、減価償却の進行によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,344,000千円となり、前事業年度末に比べ99,685千円減少しました。主な内訳は、返済の実行による短期借入金の減少100,000千円、賞与金額の確定に伴う賞与引当金の減少55,220千円、受注残高の増加による前受金の増加103,279円であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は1,009,513千円となり、前事業年度末に比べ27,045千円減少しました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金への振り替えによる長期借入金の減少25,000千円であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は715,259千円となり、前事業年度末に比べ46,679千円減少しました。これは、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では計画通り進捗しており、2019年5月14日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	382,298	508,848
受取手形及び売掛金	601,193	187,417
商品及び製品	940	921
仕掛品	615,523	659,495
原材料及び貯蔵品	150,600	235,811
その他	104,031	98,681
流動資産合計	1,854,588	1,691,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,014,269	3,016,729
減価償却累計額	△2,441,626	△2,453,434
建物及び構築物 (純額)	572,642	563,295
土地	613,912	613,912
その他	1,133,673	824,853
減価償却累計額	△990,678	△683,814
その他 (純額)	142,995	141,039
有形固定資産合計	1,329,550	1,318,246
無形固定資産	9,509	11,320
投資その他の資産		
関係会社株式	7,536	7,536
その他	41,899	41,392
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	48,535	48,028
固定資産合計	1,387,595	1,377,596
資産合計	3,242,183	3,068,773
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	393,624	374,182
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	10,147	3,637
前受金	545,931	649,211
賞与引当金	88,484	33,264
受注損失引当金	5,061	3,621
その他	200,436	180,084
流動負債合計	1,443,685	1,344,000
固定負債		
長期借入金	900,000	875,000
その他	136,558	134,513
固定負債合計	1,036,558	1,009,513
負債合計	2,480,244	2,353,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	△523,940	△570,620
株主資本合計	761,939	715,259
純資産合計	761,939	715,259
負債純資産合計	3,242,183	3,068,773

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	307,720	540,511
売上原価	268,729	438,604
売上総利益	38,991	101,907
販売費及び一般管理費	136,544	140,896
営業損失(△)	△97,553	△38,989
営業外収益		
受取賃貸料	861	768
補助金収入	120	150
その他	1,344	60
営業外収益合計	2,325	979
営業外費用		
支払利息	9,903	6,838
為替差損	137	401
その他	41	612
営業外費用合計	10,081	7,852
経常損失(△)	△105,309	△45,863
税引前四半期純損失(△)	△105,309	△45,863
法人税、住民税及び事業税	816	816
法人税等合計	816	816
四半期純損失(△)	△106,125	△46,679

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	297,126	10,594	307,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	297,126	10,594	307,720
セグメント利益又は 損失(△)	△90,277	△7,275	△97,553

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	464,096	76,414	540,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	464,096	76,414	540,511
セグメント利益又は 損失(△)	△48,626	9,636	△38,989

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。